

白バラよこはま

No.54

令和6年10月発行



横浜市明るい選挙推進協議会

横浜市中区本町 6-50-10

TEL 045-671-3337

FAX 045-681-6479

▶【栄区】区民まつり



▶【港南区】小学校でのせんきょフォーラム



▶【保土ヶ谷区】ほじがやバンドバトル



▶【都筑区】都筑区民まつり



▶【西区】みなとみらい21さくらフェスタ2024



▶【泉区】高校文化祭での計数機の操作体験



▶【旭区】高校生向け選挙啓発イベント



▶【瀬谷区】子ども映画会



明るい選挙推進協議会に期待される役割

明るい選挙推進協議会は、

- ①選挙違反のないきれいな選挙を行うこと
- ②有権者がこぞって投票に参加すること
- ③有権者が普段から政治・選挙への関心を持ち、政党や候補者を見る目を養うこと

という3つの明るい選挙推進運動の目標を達成するため、これまで様々な活動を行ってきました。それらの活動に加え、今後、時代に即した新しい役割として、

- ①選挙事務への積極的な従事
- ②地域における投票制度の積極的な広報を担っていくことが期待されます。

明るい選挙推進協議会推進委員・推進員の心得

～活動をしていく上での諸注意・お願い～

明るい選挙推進運動の目的は、選挙が公正に行われ、選挙を私たち国民の意思が正しく政治に反映させるものにし、民主主義の健全な発展を達成することです。

ここでは、明るい選挙推進運動を担う推進委員、推進員の皆様が活動をしていくうえで注意すべき事例について紹介します。

明るい選挙推進運動は、選挙を浄化するために始まった一つの政治教育運動です。

したがって、特定の政党、政策、候補者を支持したり、逆にそれらに反対したりする政治活動や選挙運動とは、はっきり区別されなければなりません。

次のような例はよく聞かれる質問です。

Q：特定の候補者の選挙運動員をしながら、その選挙の街頭啓発「ザ・イコット」に参加してもよいですか。

A：好ましくありません。明るい選挙推進運動は公平な第三者の立場で行う運動です。特定の候補者のための選挙運動をしながら、その選挙時の啓発活動に参加することは差し控えましょう。

Q：某候補者は、明るい選挙推進運動の趣旨を理解し、これに沿った選挙運動をしている人格者。明るい選挙推進員を続けながら、このような候補者がいることをこの候補者の推薦人になって知らせたいのですが。

A：明るい選挙推進員としての活動は、公正かつ不偏不党でなければなりません。どんなに高潔な方であっても特定の候補者の推薦人になることは避けましょう。

次の活動についても、積極的に実施していただくようお願いします。

- 期日前投票所や当日投票所の投票立会人等への従事
- 自治会・町内会における投票制度に関する広報、アドバイス

これらの活動には、「明るい選挙推進のためのハンドブック」を御活用ください。



目次

明推協に期待される役割、推進委員・推進員の心得	2
各区令和5年度の事業	3～20
横浜市令和5年度の取り組み	21・22
第20回投票参加状況調査結果（抜粋）	23
横浜市若者選挙啓発団体の活動紹介	24
青葉区明るい選挙推進協議会企画・運営チームの紹介	25
寄附禁止	26
各選挙における投票率の推移	27

鶴見区

鶴見区明るい選挙推進協議会では、明るくきれいな選挙の実現を目指し、各種啓発事業を実施しています。また、若年層に向けた、選挙・政治に対する意識向上が求められていることから、若い世代に向けた選挙啓発にも力を入れています。

令和5年度は、4年ぶりに開催された三ツ池公園フェスティバルをはじめ、各種イベントで投票参加の呼びかけや模擬投票を行うとともに、小中学生を対象とした「標語コンクール」や、区内小中学校にてせんきょフォーラムを実施し、将来の有権者への啓発活動を行いました。

今後も引き続き、選挙への関心が高まるような啓発活動を行ってまいります。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和5年 5月～6月	推進委員総会 (書面開催)	令和4年度の事業・決算報告及び、令和5年度の事業計画を審議。	
5月～ 12月	鶴見区明るい選挙標語コンクール	小中学生を対象に夏休み期間を利用して選挙に関する標語のコンクールを実施し、参加者全員にクリアケース、植物の種子、自身の標語を入れたメッセージカードを配付。 最優秀賞 「小さな一票 鶴見を支える 大きな一歩」	応募総数： 643点
5月	三ツ池公園フェスティバル	投票参加を呼びかけながら啓発物品を配布。	参加者： 約200名
8月	つるみ臨海フェスティバル	ブースを出展し、実際の投票器材を使用したキャラクター投票を実施。	参加者： 約360名
10月	鶴見大学紫雲祭	紫雲祭において、紫雲祭実行委員会と連携して、模擬投票（仮装コンテスト）を実施。	参加者： 約200名
令和6年 1月～2月	せんきょフォーラム	区内小中学校にて、選挙についての講演と模擬投票（給食選挙、みんなの地球防衛大臣選出選挙）を実施。	実施校： 2校
1月	明るい選挙推進研修会	推進委員及び推進員を対象に、横浜市会と市庁舎低層部議事堂の見学会を実施。	参加者： 15名

▼せんきょフォーラム



▲三ツ池公園フェスティバル



▲標語コンクール表彰式

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
通年	イコット NEWS 発行	協議会の機関紙として、実施事業の広報や選挙関連情報を中心に掲載、発行。	発行回数： 3回
	投票器材の貸出	区内の中学校・特別支援学校・大学に投票器材貸出しを実施。	貸出数： 7校

神奈川県

神奈川県明るい選挙推進協議会は、神奈川県選挙管理委員会と連携・協力し、明るい選挙の推進、投票率の向上に向けて、様々な啓発活動を行いました。

若年層への啓発では、区内小学校、中学校及び高等学校にて出前授業(せんきょフォーラム)を行いました。参加した児童・生徒からは大変好評で、選挙に触れる良いきっかけとなったようです。

さらに、区民まつりや横浜FCかながわ区民DAYといったイベントへの出店、啓発活動の報告を取り上げたイコット通信を2回発行したほか、メモ帳、ドリンクケース等の啓発グッズを作製しました。

今後も、より充実した啓発活動を実施してまいります。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和5年4月	横浜FC ECO パートナーDAYへの参加	ブースにて啓発物品の配布を実施。	
10月	神奈川県民まつりへの参加	啓発ブースを出店し、有効票・無効票分類ゲームや啓発パネルの設置等を実施。	参加人数: 537人
10月	横浜FCかながわ区民DAYへの参加	特設ブースでの啓発物品の配布やイコット Jr. がピッチを周回し、選挙啓発を実施。	入場者数: 約11,057人
11月	横浜市立浦島丘中学校での出前授業	選挙の仕組みを説明し、模擬投票を実施。	参加人数: 405人
12月	明るい選挙推進研修会	推進委員・推進員を対象に横浜地方裁判所の見学を実施。	参加人数: 13人
令和6年1月	神奈川県立城郷高等学校での出前授業	神奈川県選挙管理委員会と合同で「選挙と税金の意義」をテーマに講義し、模擬投票を実施。	参加人数: 260人
1月	私立浅野学園高等学校での出前授業	「政治活動と選挙運動」をテーマに講義し、模擬投票を実施。	参加人数: 270人
2月	横浜市立神奈川中学校での出前授業	選挙の仕組みを説明し、開票体験を実施。	参加人数: 183人
年2回 (令和5年12月、令和6年3月)	イコット通信の発行	啓発活動を推進委員・推進員向けに幅広くお知らせするため、12月と3月に「神奈川県イコット通信」を発行。	
通年	区内小学校でのせんきょフォーラム	区内小学校の児童を対象に、選挙の仕組みを説明し、学校生活に関するテーマで模擬投票を実施。	実施小学校: 11校 参加人数: 843人

▼ 横浜FCかながわ区民DAY



◀ 啓発物品



▲ 小学校でのせんきょフォーラム (投票の様子)

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
通年	乳幼児健診向け啓発物品の作製・配布	乳幼児の親世代に向けて選挙啓発に関するデザインのウェットティッシュを作製し、配布。	作製数: 4,000個
	選挙器材の貸出し	区内中学校・高等学校を対象に、投票箱、記載台等の器材貸出しを実施。	対象校数: 中学校6校 高等学校2校
	啓発物品の作製・配布	啓発物品(メモ帳、ドリンクケース)を作製し、区民まつりや自治会の行事で配布。	作製数: メモ帳 1,500個 ドリンクケース 500個

西 区

西区では、明るくきれいな選挙の実現と投票率向上のため各種啓発事業を実施しています。

令和5年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大も終息に向かい、区内イベントも再開し、当協議会も積極的に参加いたしました。なかでも11月の区民まつりでは、野毛山動物園と共同でブース出展し動物選挙を行い、御家族連れを中心として、幅広い年齢層の方々に模擬投票を体験していただきました。

その他にも、12月には、ハマのウォーキングフェスティバルでネックストラップの配布や、3月には、みなとみらい21さくらフェスタ2024でイコット Jr. の出演などを行いました。

今後も推進委員・推進員の皆様と連携し効果的な啓発活動に取り組みます。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和5年5月	定例会	推進員委嘱、令和4年度事業実績及び決算報告、令和5年度予算審議	参加人数：14人
11月	西区民まつり	野毛山動物園の動物選挙を行い、将来の有権者を含めた区民に対して、模擬投票を実施	投票総数：586票
12月	ハマのウォーキングフェスティバル	参加者が使用するネックストラップに啓発キャッチフレーズを印字して提供	参加人数：1,054人
令和6年1月	明るい選挙推進研修会	選挙に関する意識を高めるために市会棟を見学	参加人数：23人
3月	みなとみらい21さくらフェスタ2024	イコット Jr. がステージパフォーマンス及びパレードに参加	来場者数：2,832人
通年	学校での生徒会選挙等の実践啓発	記載台や投票箱等の貸出し	貸出数：7校、1団体
	明推協だより	推進委員・推進員向け機関紙の発行	
	啓発物品の作製	啓発物品（啓発台紙入り絆創膏・液晶クリーナー）	

▼ 啓発物品



▲ 西区民まつり



▲ 選挙器材の貸出し

中 区

中区明るい選挙推進協議会では、今年度も様々な常時啓発事業を実施し、投票率の向上を目指しました。

春から秋にかけて「tvk かながわMIRAI ストリート」や中区民祭り「ハローよこはま」といった大規模イベントに参加することで幅広い世代の方に選挙に触れていただきました。

また、小中学生に選挙の大切さを知ってもらうために行っている「中区明るい選挙推進作文コンクール」では、728 作品という多数の応募作品の中から厳正な審査の上で入賞作品を決定し、入賞者を対象とした表彰式を行いました。

この他にも投票器材の貸出しやせんきょフォーラムの実施など、将来の有権者である若年層への働きかけを重視した啓発事業を実施しました。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和5年 5月	tvk かながわ MIRAI ストリート	横浜公園・日本大通りで開催された「tvk かながわMIRAI ストリート」で模擬投票を実施	参加人数: 519人
8月	なかくっこ自由研究 大作戦	区の事業「なかくっこ自由研究大作戦2023」に参加し、模擬投票を実施	参加人数: 15人
11月	中区民祭り (ハローよこはま)	象の鼻パークで開催された中区民祭り「ハローよこはま2023」に参加	参加人数: 1,043人
	せんきょフォーラム	区内の中学校で「主権者教育アドバイザーによる講義」を実施 (11月22日 港中学校)	参加人数: 16人
令和6年 1月		区内の小学校で「給食選挙」を実施 (1月30日 本町小学校)	参加人数: 40人
通年	選挙器材の貸出し	区内の小中学校で、模擬選挙や生徒会選挙などの用途で貸出し	貸出し数 小学校 1校 中学校 5校 イベント等 5件 計11件
	中区明るい選挙 推進作文コン クール	区内在住・在学の小中学生を対象に、選挙やまちづくりをテーマとした作文コンクールを実施	応募件数 728作品 入賞者18名

▼ tvk かながわ MIRAI ストリート



▲ なかくっこ自由研究大作戦



▲ 作文コンクール表彰式

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
通年	明推協通信「イ コットニュース」 の発行	推進員等への情報提供と、選挙啓発意識の向上を目的とした機関紙の発行	発行回数: 年3回 (6月、11月、 3月)

南区

南区明るい選挙推進協議会は、南区選挙管理委員会と連携し、「きれいな選挙」「積極的な投票参加」の実現を目指し、啓発活動を行っています。

7月には、「明るい選挙映画会」を実施し、若年層と子どもを中心とした層への選挙啓発を実施しました。

3月には、「みなみ桜まつり」において、選挙ブースを出展し、啓発パネルの展示や選挙器材を使用したマスコットキャラクター投票、ボール投げゲームを実施し、当協議会の周知及び投票参加を呼びかけました。

その他にも、年間を通じて、小学校への出前授業と模擬選挙を行うせんきょフォーラムや、市内中高校への選挙器材の貸出しを行いました。

▼ みなみ桜まつりの様子



▲ 推進員研修会での施設見学



▲ 南区明るい選挙映画会

● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和5年6月、令和6年1月	せんきょフォーラム	区内の2校で、選挙における出前授業と、給食メニューや、「自分が校長になったら」をテーマに、投票から開票までを経験する模擬投票を実施。	参加人数：91人
令和5年7月	南区明るい選挙映画会	南公会堂にて若年層（主に小さな子どもを持つ親等）への啓発を目的として、アニメ映画「ミニオンズ フィーバー」と選挙啓発アニメを上映。 また、選挙器材を使ったアンケートの実施や、啓発物品を配布。	参加人数：約100人
12月	推進員研修会	選挙や政治に関連する施設への見学会として、衆議院憲政記念館を見学。	参加人数：5人
令和6年2月	区内高校への啓発活動	低投票率の続く若年層向け啓発の一環として、「未来をつくる投票ガイド」と題した啓発パンフレットを作製し、区内の高校4校にご協力をいただき、高校3年生に配布。	配布数：1,080部
3月	みなみ桜まつり	「みなみ桜まつり」において、記載台や投票箱を使用したマスコットキャラクターの人気投票や、ボール投げゲームを実施。選挙ポスター掲示板型顔出しパネルを掲示した他、参加者には啓発物品を配布。また、大岡川沿いの桜並木に、選挙啓発標語入りの「ぼんぼり」を掲出。	参加人数：約1,000人
通年	明推協だより発行	明推協の事業内容や活動報告を機関紙にまとめ、推進委員及び推進員に年3回発行し、ホームページにも掲載。	

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
通年	啓発物品作製	啓発物品として、「まねっぎー」のホログラムシールを作製。	
	選挙器材貸出し	未来の有権者の選挙への関心を高めるために、生徒会選挙等への選挙器材貸出しを実施。	貸出し校数：11校

港 南 区

港南区明るい選挙推進協議会では近年、特に若年層への啓発に力を入れています。

令和5年度は、「高校文化祭への出展」「こうなん子どもゆめワールドへの出展」「小学校でのせんきょフォーラム」「区内学校への選挙物品の貸出し」などの活動を行いました。

高校文化祭では、選挙時の候補者情報の集め方等をまとめた動画ページの二次元バーコードを記載したオリジナルトレットペーパーを製作。クイズの景品として配布し、好評でした。また、活動時の一体感向上のため、区明推協オリジナルジャンパーを製作し、推進員に着用いただきました。

今後も、推進委員・推進員の皆さまとともに、明るい選挙の推進に努めていきます。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和5年5月	港南区明るい選挙推進協議会委員会	令和4年度の事業報告および令和5年度の事業計画等の審議。	参加人数：19名
9月・10月	高校文化祭での選挙啓発ブース出展	区内の高校4校でのブース出展。選挙クイズと景品（オリジナルトレットペーパー）の配布。	参加人数：のべ1,000人以上
11月	こうなん子どもゆめワールドでの選挙啓発ブース出展	子ども向け啓発パネルの掲示。実際の投票箱を用いた選挙クイズ。	参加人数：のべ1,000人以上
11月～2月	せんきょフォーラム（小学校模擬投票）	区内小学校にて選挙に関する授業および給食メニューやデザートを決める模擬投票。実際の選挙物品を使用。	実施校数：4校 対象児童：364名
12月	明るい選挙推進大会・研修会	令和5年度事業の進行状況発表。横浜市選挙管理委員会事務局啓発係長による講演（テーマ：横浜市が実施している選挙啓発について）	参加人数：19名（選管委員含む）
年3回	明推協だよりの発行	推進委員、推進員および選挙管理委員に向けた活動報告。令和5年度は、6・10・2月発行。	対象人数：48名（選管委員含む）

▼ こうなん子どもゆめワールドでのブース出展



▲ 区明るい選挙推進大会・研修会



▲ 高校文化祭へのブース出展

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
通年	啓発物品の製作	推進員や事務局が活動の際に着用するオリジナルジャンパーの製作。	
	選挙機材の貸出し	区内学校の生徒会選挙等のための、投票器材の貸出し。	実績：8校

保土ヶ谷区

保土ヶ谷区明るい選挙推進協議会では、将来の有権者となる若年層への啓発と、地域による選挙啓発活動の支援を中心に活動しました。

若者向けの活動では、「ほどがやバンドバトル2023」を開催しました。出演者には、バンド演奏の合間に、選挙に対する想いを言葉や歌でアピールしてもらい、最も素晴らしいアピールをしたバンドには特別賞を贈呈するなど、選挙啓発を意識した企画を行いました。

また、地域の啓発活動への支援を目的として、ウェットティッシュやメモ帳、絆創膏セットを作製しました。区民まつりで配布したほか、地域のイベント等でも活用いただいております。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和5年5月	定例会	(1) 役員改選 (2) 令和4年度事業報告・収支決算報告及び監査報告 (3) 令和5年度事業計画及び予算案 (4) 企画運営部会の募集について	参加人数：18名
5月	ほどがや花フェスタ ブース出店	計数機を使用したミニゲーム等を実施。	
9月	第一回企画運営部会	(1) 企画運営部会長の選任について (2) 地域啓発用及び区民まつり用の啓発物品の作製について	参加人数：9名
10月	ほどがや区民まつり ブース出店	キッズ投票（キャラクター選挙）等を実施。	
11月	ほどがやバンドバトル	青少年指導員協議会と共催で、高校生によるバンド演奏会を開催。参加した高校生バンドによる選挙啓発や選挙クイズなどを実施。	出演バンド数：12組 学生スタッフ：約100名（出演者を含む）
12月～令和6年1月	せんきょフォーラム	区内の小学校6年生を対象に、各学校が設定したテーマによる模擬選挙を実施。	実施校数：6校 児童数：約480名
3月	第二回企画運営部会	(1) 地域啓発用及び区民まつり用の啓発物品の作製について（報告） (2) 令和5年度明るい選挙推進協議会事業の活動について	参加人数：9名

▼ せんきょフォーラム（桜台小学校）



▲ ほどがや区民まつり



▲ 地域用啓発物品

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
年3回	「明推協だより」の発行	(3) 令和6年度明るい選挙推進協議会事業計画（案）について 推進委員、推進員向けの機関紙を発行。	6月・11月・3月
通年	選挙機材貸出し	区内の学校に生徒会選挙等での使用を目的に、投票箱等の選挙機材の貸出しを実施。	貸出校数：8校

旭 区

旭区明るい選挙推進協議会では、「明るくきれいな選挙の実現」と「区民の積極的な投票参加の促進」を図るため、各種啓発活動を実施しています。

令和5年度においては、通年行っている啓発活動の他に、若い世代を対象とした啓発に力を入れて活動しました。小学6年生を対象とした「旭せんきょフォーラム」では、例年よりも対象校を拡大して実施し、選挙に対する意識向上に努めました。また、「新有権者」である高校3年生を対象とした啓発イベントを新たに開催し、投票参加を呼びかけました。

今後も推進委員、推進員の皆様と協力し、選挙に一人でも多くの方に関心を持っていただけるような啓発活動を行ってまいります。

▼せんきょフォーラム



啓発物品 ▶

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和5年5月	旭区明るい選挙推進協議会定例会議	推進委員による定例会議を実施。 【主な議題】 1 役員選出 2 規約の一部改正 3 令和4年度事業報告及び決算報告 4 令和5年度事業計画(案)及び予算(案) 【開催日】令和5年5月29日 【場所】旭区役所本館3号会議室	参加人数 推進委員：10名
10月	旭ふれあい区民まつり	選挙に関するパネル展示及び模擬投票を実施、啓発物品の配架。子育て世代の投票率向上のため、お子様向けのイベントコーナーを設置。 【開催日】令和5年10月15日(日) 【場所】旭区役所地下駐車場	参加人数 推進員：8名 来場者：約500名
10月～12月	せんきょフォーラム	選挙に対する理解・関心を深めることを目的として、区内の小学6年生を対象に、身近な話題をテーマにした模擬選挙を実施。 【開催日・実施校】 1 令和5年10月19日 川井小学校 2 令和5年11月2日 中尾小学校 3 令和5年11月10日 さちが丘小学校 4 令和5年11月16日 笹野台小学校 5 令和5年12月7日 中沢小学校	参加児童数 1 川井小学校：64名 2 中尾小学校：49名 3 さちが丘小学校：111名 4 笹野台小学校：85名 5 中沢小学校：98名
令和6年1月	新有権者向けの啓発 1 啓発物品の配付	区内全7校の高校3年生に新有権者向けパンフレットとともに、選挙啓発オリジナルクリアホルダーを配付。	配布数 約1,600名



▲旭ふれあい区民まつり

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
2月	2 高校生向け選挙啓発イベント(初開催)	新有権者である高校3年生を対象に、選挙制度に関する講義、また、架空の市の市長選挙を題材に模擬選挙を実施。 【開催日・実施校】 令和6年2月16日 星槎高等学校	参加生徒数 130名
通年	選挙機材・物品の貸出し	区内の高等学校・中学校の生徒会選挙時に投票箱・記載台等の選挙機材や腕章・たすき等の選挙運動用物品の貸出しを実施。	貸出し学校数 12校
	イコット通信の発行	推進委員・推進員への情報提供や推進員相互の連帯意識の向上を図るため機関紙「あさひイコット通信」を発行。	発行回数 年3回

磯子区

磯子区明るい選挙推進協議会では、若年層啓発を中心に活動を行っています。

9月に開催された磯子区民まつりでは、選挙に関するクイズの出題を行い、約1,300人の方々にご参加いただきました。啓発物品として、選挙を身近に感じていただけるよう、日常的に使用できるカトラリーセット及びボールペンを作製しました。

1月には、「選挙に行こう！こども映画会」を開催し、マスコットキャラクターを選ぶ投票体験をしていただきました。当選したデザインを使用した啓発物品を令和6年度に作製予定です。また、令和5年度から投票箱やマスコットキャラクターと写真が撮れるフォトスポットを新たに設置しました。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和5年5~6月	せんきょフォーラム	区内の小学校で、選挙に関する講義と、給食のメニューや学年レクの種目を決める模擬選挙を実施。 【実施校】 ・杉田小学校 ・洋光台第四小学校 ・浜小学校	参加人数：計239人
6月	磯子区明るい選挙推進協議会定例会議	令和4年度の事業・決算報告、令和5年度の事業計画・予算案及び規約改正についての審議。	推進委員：20人
	磯子区明るい選挙推進研修会	明るい選挙推進協議会の歴史・役割についての講演と、磯子区明るい選挙推進協議会の活動報告を実施。	推進委員・推進員：53人
9月	磯子まつり	区民まつりに防災担当と合同でブースを出展。選挙と防災に関するパネル展示とクイズの出題を行い、参加者に啓発物品を配布。	参加人数：約1,300人
令和6年1月	選挙に行こう！こども映画会	マスコットキャラクターを選ぶ投票体験と選挙啓発動画の上映後に、映画「かがみの孤城」を上映。	参加人数：約100人
3月	磯子区明るい選挙推進協議会定例会議	令和5年度の事業・決算報告、及び令和6年度の事業計画・予算案についての審議。	書面開催

▼せんきょフォーラム



48票	①イコットJr. 投票へイコット!	②めいすいくん 18歳になったら選挙へ行こう!	30票
	③投票箱 (まほうの宝箱)	④イコットちゃん あなたの一票大切に!	
8票		家族みんなで投票へ行こう!	8票

▲こども映画会 マスコットキャラクター投票



▲カトラリーセット (啓発物品)

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
通年	生徒会支援事業	区内の中学校・高等学校に選挙器材の貸出し。	学校数：中学校7校 高等学校1校
	明推協だより発行	推進委員・推進員を対象に、事業計画や活動報告、選挙結果等を掲載した機関紙を年3回発行。	

金 沢 区

金沢区明るい選挙推進協議会では、「若い世代に選挙について関心を持っていただくために…」をメインテーマに、啓発活動を企画・実施しています。

令和5年度は横浜市立金沢高等学校文化祭「金高祭」、横浜市立大学「浜大祭」、金沢まつり「いきいきフェスタ」にブースを出展し、選挙に関するキャラクターの人気投票を行いました。

また、将来の有権者である中学生に向けた主権者教育として、「せんきょフォーラム」を、毎年開催しています。令和5年度は市立富岡東中学校で落語家による講演会を行いました。

この他にも、区内各学校への出前授業や選挙器材の貸出しなどを行い、若い世代の政治・選挙に対する意識向上を目指し活動しています。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和5年9月	横浜市立金沢高等学校文化祭「金高祭」へのブース出展	高校生の選挙に対する意識向上を図るため、横浜市立金沢高等文化祭「金高祭」にブースを出展し、選挙に関するキャラクターの人気投票、選挙啓発パネルの掲示を実施。来場者には選挙啓発物品を配布。	参加人数 602人
10月	金沢まつり「いきいきフェスタ」へのブース出展	明るい選挙推進協議会の活動を広く区民に周知するため金沢まつり「いきいきフェスタ」にブースを出展し、選挙に関するキャラクターの人気投票、選挙啓発パネルの掲示を実施。来場者には選挙啓発物品を配布。	参加人数 1,604人
11月	横浜市立大学「浜大祭」へのブース出展	大学生の選挙に対する意識向上を図るため、横浜市立金沢高等文化祭「金高祭」にブースを出展し、選挙に関するキャラクターの人気投票、選挙啓発パネルの掲示を実施。来場者には選挙啓発物品を配布。	参加人数 500人
	せんきょフォーラム	将来の有権者である中学生を対象に講演会を開催。 会場：横浜市立富岡東中学校 演題：「そうだ、投票に行こう！～笑い溢れる、明るい未来～」 講師：桂 三四郎（落語家）	参加人数 全校生徒 426人
12月	選挙クイズ	区民の選挙に対する関心を高めるため、「広報よこはま金沢区版」及び区役所HPに選挙に関するクイズを掲載、正解者に抽選で啓発グッズを贈呈。	応募者数 23人
令和6年1月	金沢区明るい選挙推進委員・推進員研修会	選挙啓発に対する意識の向上を目的に、横浜市会議事堂の見学会を実施。	参加人数 10人

▼ 金沢まつり「いきいきフェスタ」での啓発



▲ 落語家による講演（せんきょフォーラム）



▲ 選挙出前授業の様子

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
通年	明推協にゆうすの発行	推進委員及び推進員向けに事業に関する情報提供や意識向上を目的に機関紙を発行（年3回：7月、12月、3月）。	
	選挙出前授業	区内小・中・高等学校を対象に選挙の重要性や関心を高めるため、出前授業を実施。	実施校数 中学校：1校 高等学校：1校
	選挙器材貸出し	生徒の選挙への関心を高めるため、区内学校で行われる生徒会役員選挙等に選挙器材を貸出し。	貸出し件数 小学校：1校 中学校：10校 高等学校：1校 特別支援学校：1校

港 北 区

港北区では、若者の投票率向上につなげるため、小中高生の参加・体験型事業に力を入れています。令和5年度は、大人になっても「選挙へ行こう」という気持ちを持ち続けてほしい。そんな思いから、18歳の未来の自分に投票の大切さを伝える設定でメッセージカードを作るコンテストを企画し、総数423点もの応募をいただきました。さらに作品を公共施設、駅、ショッピングモールで巡回展示し、広く一般の有権者にも紹介し、その様子は地元新聞に取り上げられました。

今後も学校や地域の皆様と連携を図り、若者の興味や関心に応えながら、投票参加につながる啓発事業を展開していきます。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和5年5月	定例会議	令和4年度の事業報告、5年度の事業計画等について審議。	推進委員：14人
7月	メッセージカードコンテスト (将来の有権者向け啓発事業)	小中高生を対象に、選挙権を得る18歳の未来の自分に向けて、投票参加の大切さを伝えるポストカードを募集。優秀作品を区内施設で巡回展示。	参加校数：6校 応募総数：423点
11月	推進研修会	明い選挙推進運動への意識の高揚及び政治・選挙に関する自身の知見を深めるため、推進委員及び推進員を対象に研修を実施。 講師：慶應義塾大学 SFC 研究所上席所員 西野 偉彦 氏 テーマ：地域において投票率をどう向上するか	参加人数：40人
11月	ふるさと港北ふれあいまつり	横浜アリーナで開催されたふるさと港北ふれあいまつりに、実際の投票箱や記載台を使って投票を体験するキャラクター選挙のブースを出展。	来場者数：1,000人
通年	せんきょフォーラム	若年層に主権者としての理解を深めてもらうため、グループワークなどの出前授業や模擬投票を実施 ・駒林小学校（6年生80人） 模擬投票：運動会で着る法被 ・太尾小学校（6年生124人） 模擬投票：校長先生に授業してもらう教科 ・樽町中学校（2年生24人） 出前授業：選挙管理委員会の職業体験	実施校数：3校 参加人数：延べ228人

▼せんきょフォーラム（駒林小学校）



▲メッセージカードコンテスト巡回展示



▲推進研修会

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
通年	選挙器材の貸出し	本物の選挙器材に触れ、選挙を身近に感じてもらうため、小中高校の児童・生徒会選挙等に際し、選挙器材を貸し出し。	貸出実績：14施設
	イコット通信	協議会の活動内容や選挙のお知らせなど、推進委員・推進員への情報提供を目的とした機関紙を発行。区ホームページにも掲載、周知。	発行：8月、1月の2回

緑 区

緑区明るい選挙推進協議会は、区民に政治や選挙への関心を高めてもらうことを主な目的として活動しています。令和5年度は、2027年国際園芸博覧会1200日前イベントとして開催されたミドリマルシェに啓発ブースを出展し、「緑区役所にお花を飾ろう選挙」を実施しました。

▼ 森の台小学校での出前授業の様子



また、森の台小学校にて、6年生を対象に選挙に関する出前授業を実施しました。

霧が丘学園中学部では、3年生を対象に主権者教育アドバイザーを講師に招き、せんきょフォーラムを実施しました。

鴨居桜まつりでは、選挙啓発ブースを出展し選挙器材の展示等実施しました。

今後も、推進委員・推進員の皆様と連携して効果的な啓発活動に取り組んでまいります。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和5年 12月2日	ミドリマルシェ 出展	2027年国際園芸博覧会1200日前イベントとして開催されたミドリマルシェに啓発ブースを出展。明推協推進員の協力のもと選挙器材を用いて、「緑区役所にお花を飾ろう選挙」を実施。	投票者数： 699人
令和6年 2月	出前授業 (森の台小学校)	6年生を対象に、「選挙とは何か」「どのような経緯で18歳から投票できるようになったのか」などの説明および選挙器材の展示を実施。	参加人数： 110人
	せんきょフォーラム (霧が丘学園中学部)	3年生を対象に、主権者教育アドバイザーを講師に招き、「政治とは何か」「社会や政治と自分たちの身近な関わり」などをテーマにワークショップ形式で実施。	参加人数： 80人
3月	鴨居桜まつり	鴨居桜まつりに啓発ブースを出展。明推協推進員の協力のもとシールアンケートおよび選挙器材の展示を実施。	来訪者数： 400人
通年	イコト通信の発行	明推協推進委員、推進員を対象とした機関紙を発行し、各事業の告知や報告を実施。	発行回数： 3回
	選挙器材の貸出し	区内の学校を対象に、投票箱や記載台等の選挙器材の貸出し。	貸出し校数： 8校
	啓発物品の作製	啓発物品として、フリーザーバッグ、色鉛筆、投票方法などを印刷したノートブック、ハンカチタオルを作製。	



▲ 鴨居桜まつりでの啓発ブースの様子



▲ 霧が丘学園中学部でのせんきょフォーラムの様子

青葉区

青葉区明るい選挙推進協議会は、「明るくきれいな選挙の実現」と「投票参加意識の向上」を目指し、「若年層啓発」を中心とした活動を行っています。

具体的な取り組みとして、小学6年生を対象とした「せんきょフォーラム」、中学生を対象とした「青葉区明るい選挙推進作文コンクール」のほか、高校文化祭にてブース出展を行いました。

区民まつりでは、小さなお子様にも楽しんでいただける輪投げ、選挙を実際に体験していただく模擬投票を行い、保護者の方には「投票率が低いと言われる原因」についてアンケートを取りました。

今後も推進委員・推進員の皆様と協力し、投票参加につながる啓発活動に取り組んでまいります。



▲ せんきょフォーラム



▲ ペーパークラフト作製（高校文化祭）



▲ 作文コンクール表彰式

● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考	開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和5年5月	青葉区明るい選挙推進協議会定例会議	令和4年度事業実績・決算報告及び令和5年度事業計画・予算審議等を実施。 開催日：令和5年5月29日（月） 場所：青葉区役所	参加人数：8名 （推進委員）	11月	青葉区民まつり2023	青葉区明るい選挙推進協議会としてブース出展をし、選挙に関するクイズや輪投げ、模擬投票を実施。さらに、区民まつり会場内で来場者に「投票率が低いと言われるのはなぜだろう？」というテーマでアンケートを実施。 開催日：令和5年11月3日（金・祝）	参加人数：30名 （推進員・事務局・イコプロ）
6月	推進委員嘱式、推進委員・推進員研修会	青葉区明推協推進委員及び推進員の改選に伴い、推進員の嘱式を行い、同日に研修会として「明るい選挙と投票率の向上を目指して」というテーマで講義を実施。 開催日：令和5年6月14日（水） 講師：横浜市選挙管理委員会選挙課長 廣澤淳幸	参加人数57名 （推進委員・推進員）	通年	せんきょフォーラム	将来の有権者である小学6年生を対象に、選挙への関心や知識の向上を目的として、出前授業と模擬投票を6校で実施。 授業は青葉区選管事務局職員が講師となっており、先生が主体となって模擬投票を行った。また、投票に参加したという実感を持ってもらうために、選挙啓発マスコットをデザインしたオリジナルの投票証明書に参加者全員に配付。 <実績> (1) 令和5年6月20日（火）市ヶ尾小学校 (2) 令和5年7月18日（火）美しが丘東小学校 (3) 令和5年9月12日（火）桂小学校 (4) 令和5年11月22日（水）藤が丘小学校 (5) 令和5年12月12日（火）黒須田小学校 (6) 令和5年12月19日（火）山内小学校	参加人数 (1) 134名 (2) 81名 (3) 61名 (4) 91名 (5) 82名 (6) 96名
6、7、2月	企画・運営チーム会議	明推協事業実施に際して、推進委員・推進員の中で希望者を募り構成されたチームが主体の会議。 ①明推協の活動方針確認、②せんきょフォーラムの実施、③作文コンクールの実施、④高校文化祭の参加、⑤区民まつりの企画内容等について、意見交換を実施。 (1) 第一回開催 開催日：令和5年6月21日（水） 場所：青葉区役所 (2) 第二回開催 開催日：令和5年7月25日（火） 場所：青葉区役所 (3) 第三回開催 開催日：令和6年2月14日（水） 場所：青葉区役所	参加人数 (1) 9名 （推進委員・推進員・青選管事務局） (2) 14名 （推進委員・推進員・青選管事務局・市選管事務局・イコプロ・桐蔭学園高校生） (3) 8名 （推進委員・推進員・青選管事務局）	イコト通信の発行	選挙啓発活動の周知を行うため、明推協の事業紹介や選挙結果報告等を掲載した機関紙を発行し、推進委員及び推進員への送付や、青葉区明るい選挙推進協議会のホームページへの掲載を実施。 発行回数：年3回 （令和5年6月、11月、令和6年3月）		
7月	出前授業・模擬投票	たまプラーザ地域ケアプラザにて、「投票用紙の素材について」をメインに講義を実施。 開催日：令和5年7月23日（日）	参加人数：38名 （区内在小学生以上と保護者）	投票器材貸出し	選挙についての理解を深め、親しみを持ってもらうため、生徒会役員選挙等で、区内の中学校・高校に投票箱や記載台等の貸出しを実施。	貸出し実績：15件 （中学校：12件 高等学校：2件 特別支援学校：1件）	
7月～11月	青葉区明るい選挙推進作文コンクール2023	選挙や政治・社会について関心を持ってもらうとともに、選挙に対する区民の意識を高めることを目的として、区内の中学校に通学する中学生を対象とした作文コンクールを実施。 計107作品より8作品が入賞。	参加人数：107名 （区内中学校在学学生）	啓発物品の作製	常時啓発の物品として、トートバッグ、アクリルキーホルダー、ステッカーを作製。	高校文化祭等のイベント、青葉区役所窓口で配布。	
9月	高校文化祭への参加	青葉区明るい選挙推進協議会としてブース出展をし、模擬投票を実施。その他、ポスター掲示場はパネルの設置、ペーパークラフト作製コーナー設置、啓発物品の配付を実施。 開催日：令和5年9月9日（土） 開催場所：県立市ヶ尾高等学校	参加人数：14名 （推進員・事務局・イコプロ）				

都 筑 区

都筑区明るい選挙推進協議会では、明るくきれいな選挙の実現と投票参加意識の向上を目指して各種啓発事業を行っています。

都筑区明るい選挙推進協議会の特徴は、区内15の地区に「地区協議会」を設けている点で、代表の推進委員を中心に、各地区で企画した活動を実施してもらうことで、地域に密着した啓発を実現しています。

令和5年度は、4年ぶりに「都筑区民まつり」で選挙啓発ブースを出展しました。その他、各地域での小学校出前授業（せんきょフォーラム）など、若年層への啓発活動にも積極的に取り組みました。

引き続き推進委員・推進員のみなさまのご協力のもと、様々な活動に取り組んでまいります。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和5年5月	都筑区明るい選挙推進協議会会議	前年度実施事業の振り返り及び決算報告、令和5年度事業計画について協議、決定。	参加人数：18人
6月	都筑区明るい選挙推進大会	令和5年度事業計画を推進委員及び推進員に共有し、決議文を採択。横浜市選挙管理委員会の廣澤課長が講師となり、「横浜市の明るい選挙推進協議会の活動について」と題した研修を実施。	参加人数：60人
8月	明推協 PR 事業	センター南駅前すきっぷ広場にて開催された「星空のコンサート」に協賛し、来場者へ明推協のPR活動を実施。	
11月	都筑区民まつりでの啓発	選挙に関するクイズを出題するブースを出展し、来場者に向けた啓発を実施。	
令和6年3月	「めいすい通信」の発行	明推協の活動を地域の方へPRするため、各自治会・町内会に回覧する広報誌を発行。	
通年	「明推協だより」の発行	推進委員・推進員を対象として、明推協事業の紹介や活動報告等を記載した機関紙を発行。 発行回数：年3回 (令和5年6月、11月、令和6年3月)	
	せんきょフォーラム	都筑区内の小学6年生を対象として、選挙に関する講義や身近なテーマに絡めた模擬投票を実施。	参加校数：5校 参加児童数：計491人

▼せんきょフォーラム



▲ 星空のコンサート



▲ 都筑区明るい選挙推進大会

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
通年	地区協議会事業	地域の夏祭りでの啓発など、地区協議会ごとに企画した活動を実施。メモ帳等の啓発物品を各地区に配付し啓発に活用。	
	選挙器材貸出し	都筑区内の小、中及び高等学校に向けて選挙器材の貸出しを実施。	貸出校数：8校 (中学校7校、高等学校1校)

戸塚区

戸塚区明るい選挙推進協議会は、明るい選挙の実現と区民の積極的な投票参加を目指し、3部会に分かれて各種啓発活動を行っています。

戸塚ふれあい区民まつりではキャラクター模擬投票を実施し、家族連れを中心に多くの方にご参加いただきました。また、推進委員・推進員を対象に、より選挙に対する知識を深める研修会を実施しました。さらに、今年度から新たな取組として区内大学へ選挙ブースを出展し、特に投票率の低い20代をターゲットにした啓発を行いました。

そのほか、区内の学校へ生徒会選挙等のための投票機材の貸し出し、出前講座を行うなど若年層への啓発にも取り組んでいます。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和5年5月	戸塚区明るい選挙推進協議会総会	全推進委員・推進員を対象とした総会。令和4年度の事業実績と収支決算報告及び令和5年度の事業計画と収支予算について審議、決定。	
11月	戸塚ふれあい区民まつり（第1事業部会）	模擬投票や啓発物品の配布を行う選挙啓発ブースの出展。	来場人数：1,365人
	湘南医療大学大学祭（第2事業部会）	選挙意識に関するシール投票や若い世代に活用いただきたい選挙制度の紹介を行う選挙啓発ブースの出展。啓発物品の配布。	来場人数：149人
令和6年1月	明推協推進員等研修会（第3事業部会）	推進委員・推進員を対象に、「選挙のバックヤード 選管職員の仕事+皆様から頂いた質問にお答えします!」をテーマとした集合研修を実施。	参加人数：29人
通年	『未来の有権者』育成事業	区内小学校・中学校・高校を対象に、生徒会選挙等でより実際に近い選挙を体験してもらうために、投票箱や記載台等の機材貸出しを実施。	貸出し校数：10校
	せんきょフォーラム	小学校に出向いて行う、選挙に関する出前講座を実施。 令和5年5月：舞岡小学校 令和6年1月：平戸台小学校	舞岡小学校：6年生56人 平戸台小学校：6年生33人

▼ 湘南医療大学大学祭への出展



▲ 深谷中学生徒による職業体験



▲ 明推協推進委員等研修会

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
		実際の投票機材を使用し投票事務、開票事務の職業体験を実施。	深谷中学校：2年生2名
通年	明推協通信	推進委員・推進員向けの明推協の機関紙を年3回（7月・12月・3月）発行。	令和5年11月：深谷中学校

栄 区

栄区明るい選挙推進協議会では、「明るい選挙の実現」と「区民の積極的な投票参加の促進」を目指して、各種事業を実施しています。

栄区民まつり及び神奈川県立柏陽高等学校文化祭では、選挙啓発ブースを出展し、投票体験の実施や選挙啓発パネルの展示等を行いました。

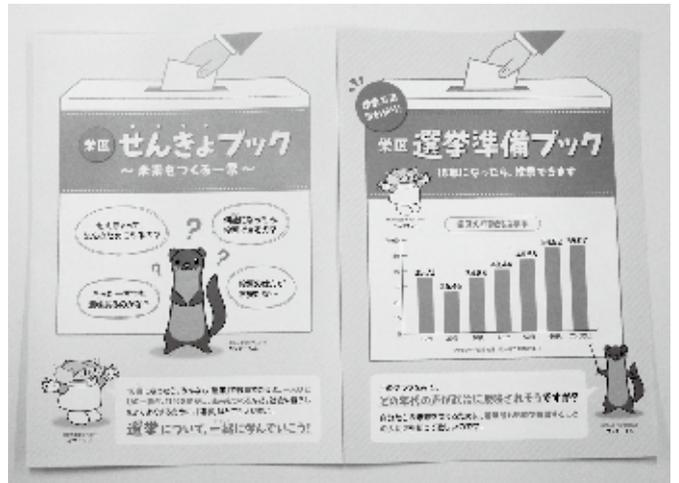
横浜市議会棟にて実施した施設見学研修会は二部構成とし、第一部では、本会議場の傍聴席にて活動報告や推進員の役割を確認しました。第二部では、本会議場や委員会室などを見学し、議会の仕組みや選挙の重要性について確認しました。

また、令和5年度は新たな試みとして、栄区明るい選挙推進協議会の推進員向けの動画の作成と若年層及び小学生向けのリーフレットを作成しました。

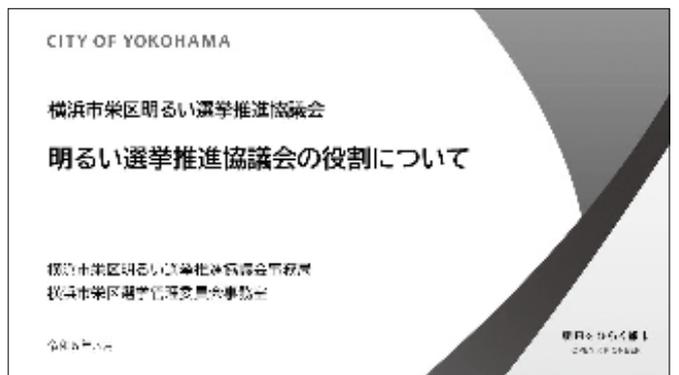
●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和5年	せんきょフォーラム	区内小・中学校を対象に選挙出前講座を実施。	
7月		横浜市立庄戸小学校	参加人数：44人
9月		横浜市立西本郷小学校	参加人数：84人
11月		横浜市立本郷小学校	参加人数：104人
1月		横浜市立桂台小学校	参加人数：60人
9月	柏陽高校文化祭ブース出展	投票体験及び計数機を用いた投票用紙の100枚あてゲームの実施、選挙啓発パネルの展示。	来場者数：529人
11月	栄区民まつりブース出展	投票体験の実施及び選挙啓発パネルの展示。	参加人数：985人
令和6年	施設見学研修会	横浜市議会棟にて施設見学会を実施。	参加人数：19人
1月			
3月	推進員向けの動画作成	明るい選挙推進運動・協議会の歴史・役割や推進員の心得等について説明した動画を作成。	
3月	若年層及び小学生向けのリーフレット作成	区内の年齢別投票率や投票の流れ、様々な選挙制度について紹介するリーフレットを作成。	

▼せんきょフォーラム



▲若年層及び小学生向けリーフレット



▲明推協推進員向け動画

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
通年	啓発物品作製・配布	選挙啓発用風船、選挙啓発用名入れ鉛筆を作製・配布。	
	選挙器材貸出し	区内の学校で実施される生徒会選挙に際し、選挙器材の貸出しを実施。	貸出し実績：6件
	イコット通信の発行	協議会活動の周知・組織の連携を図ることを目的として発行。	頻度：3回

泉 区

泉区明るい選挙推進協議会では、若年層を中心に幅広い世代に向けて、選挙に対する関心を高めてもらえるよう啓発活動に取り組んでいます。

令和5年度は、小学生・中学生・高校生の各年代に応じた啓発リーフレット・クイズの配付や、小学6年生を対象とした投票体験の実施等、若年層へ向けた啓発活動を幅広く行いました。

さらに、「泉区民ふれあいまつり」へのブース出店や「明るい選挙のわいわいファミリーフォーラム」の開催等、若年層のみならず、様々な年代の方が楽しみながら選挙に触れることができる啓発活動を実施しました。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和5年4月	定例委員会	令和4年度事業報告、令和4年度決算報告、令和4年度会計監査報告、令和5年度事業計画案・予算案の審議・決定。 場所：泉区役所	参加人数：8人
6月	小学生向け啓発リーフレット「せんきょフォーラム」の発行	区内小学校の6年生を対象とした、投票の仕方等を学べる啓発リーフレットの作成・配付。	実施校：15校
7月	明るい選挙推進研修	「明るい選挙推進協議会の活動と最近の選挙における投票率について」をテーマにした、市選挙管理委員会事務局啓発係長による講義の実施。 場所：泉区役所	参加人数：39人
8月	明るい選挙のわいわいファミリーフォーラム	選挙啓発動画及び映画「ミニオンズ フィーバー」の上映、選挙に関するパネルや投票器材の展示。 場所：泉公会堂	参加人数：206人
9月	「あと3年」クイズの発行	区内中学校及び戸塚区汲沢中学校の3年生を対象とした、市選挙管理委員会発行の社会科副教材「あと3年」を基にしたクイズの作成・配付。	実施校：9校
10月～11月	高校文化祭へのブース出展	計数機の操作体験及び選挙器材の展示。	実施校：3校
11月	泉区民ふれあいまつりへのブース出店	選挙に関するまちがいさがし、キャラクター人気投票の実施。 場所：和泉遊水地	

▼「泉区明るい選挙推進研修」での講義



▲「泉区民ふれあいまつり」での投票体験



▲ 出前授業「せんきょフォーラム」での講義

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
12月～令和6年1月	出前授業「せんきょフォーラム」の実施	区内小学校の6年生を対象とした、選挙に関する講義と模擬選挙による体験学習を併せた出前授業の実施。	実施校：6校
2月	高校生向け啓発リーフレット「高校生のためのせんきょブック」の発行	区内高校の2年生を対象とした、投票の必要性等を学べる啓発リーフレットの作成・配付。	実施校：4校
通年	選挙器材の貸出し	区内小中学校等を対象とした、投票箱や記載台等の選挙器材の貸出し。	実施校：8校
	明推協だよりの発行	推進委員及び推進員を対象とした、イベントの案内やボランティアの募集等を掲載した機関紙の発行。	発行月：6月、10月、令和6年3月

瀬谷区

瀬谷区明るい選挙推進協議会では、若年層啓発に力を入れて取り組んでいます。令和5年度は、「こども映画会」や「せんきょフォーラム」、「瀬谷フェスティバル」でのブース出展を通じて、選挙啓発に取り組みました。

「こども映画会」では、児童及び同伴の大人を対象に選挙器材を使用した模擬投票や選挙啓発DVD及び映画の上映を行いました。

「せんきょフォーラム」では、小学6年生を対象に、出前授業と模擬選挙を実施し、児童の皆さんに候補者役から投開票作業まで体験してもらいました。

「瀬谷フェスティバル」では、選挙クイズと輪投げのブースを出展し、参加者には景品として選挙啓発物品を配布しました。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和5年5月	瀬谷区明るい選挙推進協議会定例会議	前年度の事業実績、決算報告及び当該年度の事業計画案、予算の審議。 会場：瀬谷区役所	参加人数：26名
8月	瀬谷区明るい選挙推進大会・研修会	推進員の政治や選挙に対する関心・意識を一層高めるため、主権者教育アドバイザーによる講演を実施。 講師：主権者教育アドバイザー 林 大介 氏 会場：瀬谷公会堂	参加人数：71名
10月	瀬谷フェスティバル	選挙クイズと輪投げを実施。来場者に選挙啓発物品を配布。 会場：旧上瀬谷通信施設のはらっぱ	参加人数：300名
12月	こども映画会	児童及び同伴の大人を対象に、模擬投票の実施や選挙DVD及び映画の上映。 会場：瀬谷公会堂	参加人数：165名
通年	地区代表者会議	啓発事業への応援依頼や活動の実施経過の報告。年3回（5・9・1月）実施。 会場：瀬谷区役所	参加人数：33名
	イコット通信	推進委員・推進員に向けた活動紹介・報告。年3回（6・11・3月）発行。	
	せんきょフォーラム	小学6年生を対象に選挙に関する講義と模擬選挙による体験学習の実施。 実施校：三ツ境小学校（9月） 南瀬谷小学校（令和6年1月）	参加人数：201名 （三ツ境小学校95名、南瀬谷小学校106名）

▼ 推進大会・研修会



▲ 模擬選挙（せんきょフォーラム）



◀ 模擬投票（こども映画会）

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
通年	区内各学校への選挙器材等の貸出し	児童の選挙への関心を深めるため、生徒会選挙用、授業教材として実際の選挙に使用する投票器材や選挙運動用具の貸出し。	延べ9校に貸出し
	啓発物品の製作	ハンディライト及びミニタオルを製作。こども映画会、せんきょフォーラム、瀬谷フェスティバルで配布。	

横浜市 令和5年度の取り組み①

●横浜市明るい選挙推進協議会

事業名	内容	備考
研修等事業	市・区明るい選挙推進大会の開催を通じて、市・区明推協の推進委員・推進員（以下推進委員等）の意識高揚を図りました。 1 市・区明るい選挙推進大会 開催日：令和5年11月7日（火） 会場：新都市ホール 記念講演：「脳を知り、脳を育み、脳を鍛える」 講師：川島 隆太氏 （東北大学加齢医学研究所 教授）	決議文採択・活動報告
将来の有権者及び若年層向け啓発事業	将来の有権者の意識啓発を図るため、各区が実施する出前授業の支援を行いました。また、横浜市若者選挙啓発団体「イコットプロジェクト」及び「イコットJr.プロジェクト」の啓発活動を積極的に支援しました。	1 イコットプロジェクト及びイコットJr.プロジェクト啓発活動支援 2 市選管との連携による啓発事業
（公財）明るい選挙推進協会連携事業及び市・区明推協連携事業	（公財）明るい選挙推進協会が主催する研修会や各種フォーラムに参加し、他都市の先進事例等の情報を収集するとともに、連携を深めました。	1（公財）明るい選挙推進協会連携事業、各種フォーラム 2 市・区明推協連携事業
明るい選挙推進のためのハンドブックの発行	推進委員等を対象に、明るい選挙推進運動に携わる際の、地域での啓発などを目的に、活動に際し必要な事項を分かりやすくまとめた手引書を発行し、各区へ配布しました。	発行数 2,700冊
白バラよこはま（No.53）発行	市及び区の令和4年度に実施した各種啓発事業紹介や令和5年地方統一選の実績、推進員の心得等を掲載した機関誌を作成し、推進大会等で関係者に配布しました。	発行数 1,900部



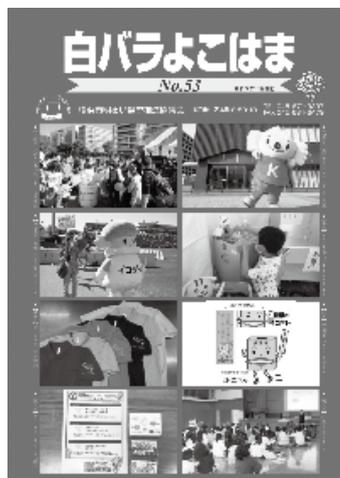
▲ 令和5年度 明るい選挙推進大会



▲ 推進大会でのパネル展示



▲ イコットプロジェクト及びイコットJr.プロジェクトの啓発活動支援の一環として作成した啓発物品



▲ 白バラよこはま NO.53



▲ 明るい選挙推進のためのハンドブック

横浜市 令和5年度の取り組み②

社

●横浜市選挙管理委員会 常時啓発

事業名	内容	備考	
選挙管理委員会単独事業	若年層啓発事業	若者の間で普及しているSNSを活用し、タイムリーで効果的な情報発信を行いました。定期発信のほか、区・市選管での啓発時等随時発信しました。	SNS：随時発信 け
	選挙啓発冊子「はたちの投票Book」	二十歳の市民にとって必要な選挙の知識、選挙のルールを掲載した冊子「はたちの投票Book」を作成し、市内の二十歳の有権者全員に郵送しました。多くの人に読んでもらえるよう、冊子のデザインを一新しました。	郵送対象：約34,400人
	二十歳の市民を祝うつどい	二十歳の市民を祝うつどい会場内外での映像放映や場内放送、当日配布冊子で、二十歳の市民に選挙の重要性や投票参加を呼びかけました。	日程：令和6年1月8日（月・祝） 会場：横浜アリーナ 来場者：約21,800人
	将来の有権者への啓発事業	教育委員会と連携し、市内中学校の3年生全員に、選挙や政治の大切さをわかりやすく説明した社会科副教材「あと3年」を配布し、学校教育の中で将来の有権者となる中学生に啓発を行いました。 また、市立横浜サイエンスフロンティア高校で選挙に関する出前授業を実施したほか、私立横浜清風高校では、東京地方税理士会及び若者選挙啓発団体イコットプロジェクトと連携して、出前授業と模擬選挙を実施しました。	あと3年 配送：令和5年8月 対象：市内中学3年生 約31,000人
	選挙制度等の広報	市ホームページ等を活用し、選挙制度の周知を進める等、積極的な広報を実施しました。	実施：通年
市明推協との共催・連携事業	せんきょフォーラム	将来の有権者向けに、学校と区・市選管、区明推協が協働し、受講者参加型の出前授業を実施しました。	実施：通年 会場：各区学校等
	啓発チラシの製作	若年層の投票率向上のため、住民票異動に関する周知チラシ及びイコットプロジェクトのメンバー募集チラシを作製し、市内協力大学の新入生を対象に配布しました。	市内協力大学：7大学 3
	投票にイコット！キャンペーン	「おとなも子どもも投票にイコット！」をタイトルとして、市と区が連携して集中的な啓発を実施することで、幅広い世代の有権者に投票参加を呼びかけました。令和5年度は新たな取り組みとして、作製した啓発物品（ウェットティッシュ）を各区子ども家庭支援課に配架し、区役所デジタルサイネージにキャンペーンバナーの掲出を行いました。	1 各区イベント等で活用する啓発物品の作製 2 市営地下鉄（5駅）への駅貼りポスター掲出 3 デジタルサイネージ（みなとみらい駅・市庁舎・区役所）掲出
市明推協支援	明推協関連	明るい選挙推進大会開催の後援及び区明るい選挙推進研修会等の開催を支援しました。	
	明推協自主事業及び組織強化のための補助	市及び各区の明るい選挙推進協議会が地域の特性に合わせて実施する行事、イベント等の活動に対して補助を行うとともに、イコットプロジェクト・イコットJr.プロジェクトの啓発事業に対しても、引き続き支援しました。	



▲ 二十歳の市民を祝うつどいでの場内放映



▲ 啓発冊子「はたちの投票 Book」



▲ 市立横浜サイエンスフロンティア高校での出前授業の様子



▲ 私立清風高校での出前授業の様子

第20回投票参加状況調査結果（抜粋）

市内有権者 6,500人に政治や選挙に関する意識調査を実施

横浜市選挙管理委員会では、令和5年4月9日に執行された統一地方選挙における「投票参加状況」や「政治意識」について調査を実施しました。その結果の一部をご紹介します。なお、調査結果については、本市選挙管理委員会ホームページに掲載しています。

- 1 調査方法及び抽出方法：郵送・インターネット回答方式併用、選挙人名簿から無作為抽出
- 2 回収結果：2,304（有効回収率35.4%）
- 3 調査時期：令和5年5月24日～6月21日

調査結果の主なポイント

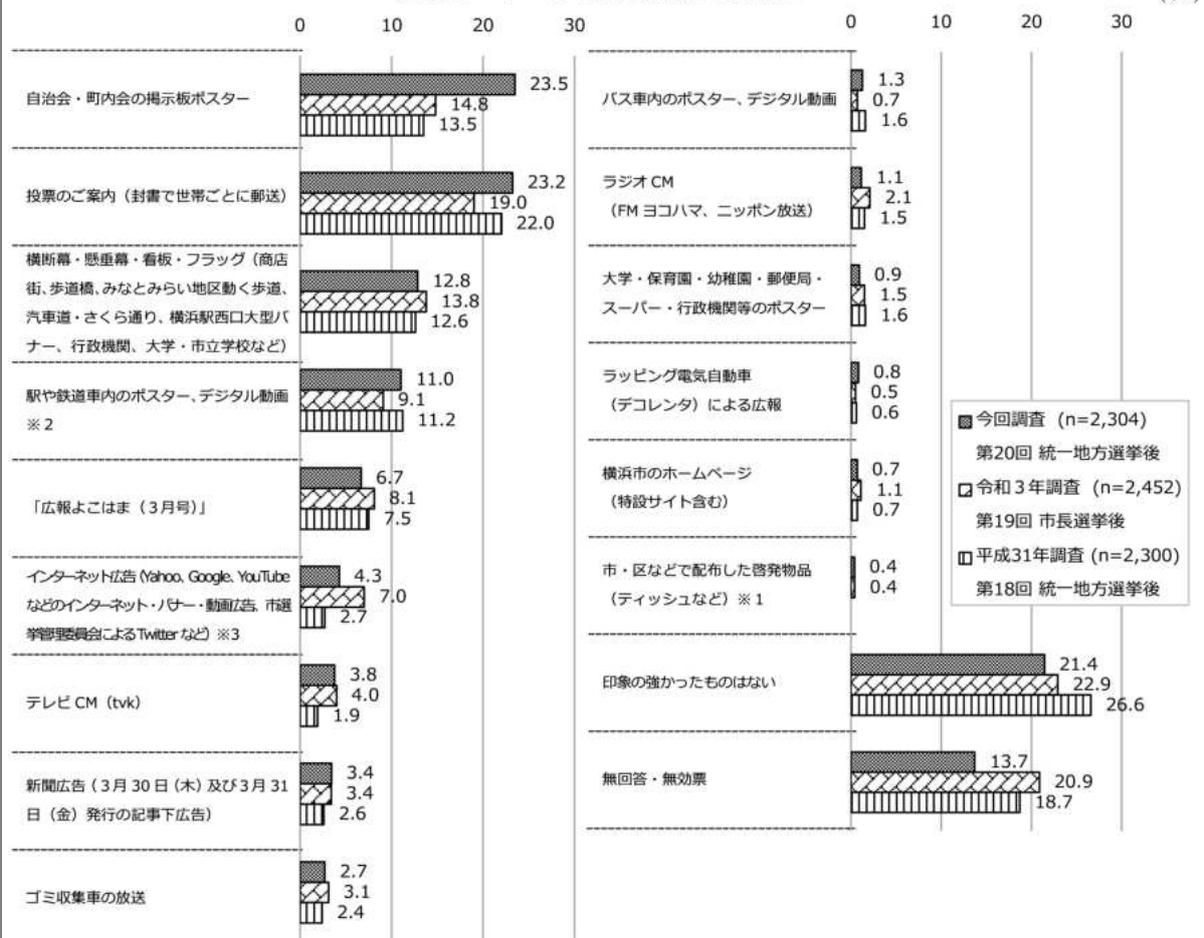
●横浜市・区選挙管理委員会が行った投票参加の呼びかけの中で、印象が強かったもの

「自治会・町内会の掲示板ポスター」が23.5%で最多（※「印象が強かったものはない」を除く）次いで、「投票のご案内」（23.2%）、「横断幕・懸垂幕・看板・フラッグ」（12.8%）、「駅や鉄道車内のポスター、デジタル動画」（11.0%）などの順となっています。

令和3年調査（第19回 市長選挙後）と比較すると、上位5項目のうち、「横断幕・懸垂幕・看板・フラッグ」、「『広報よこはま（3月号）』」のみ減少しています。

問5 今回の統一地方選挙において、横浜市・区選挙管理委員会では、いろいろな方法で投票参加を呼びかけました。その中で、もっとも印象の強かったものを2つまで選んでください。（○は2つまで）

図表Ⅳ-1-6 印象の強かったもの



※1 平成31年調査では項目なし
 ※2 以前は駅と鉄道車内の選択肢を分けていた
 ※3 以前は市選挙管理委員会のTwitterのみ選択肢を分けていた

横浜市若者選挙啓発団体 「イコットプロジェクト」「イコットJr.プロジェクト」活動紹介

イコットプロジェクト

「イコットプロジェクト」は、若年層の投票率向上に向けた各種企画の検討及び実施等に自主的に取り組んでいる若者啓発団体です。令和6年8月時点で22名の大学生・社会人が在籍しており、横浜市選挙管理委員会及び横浜市明るい選挙推進協議会が支援しています。

令和5年度は、区内高校・大学文化祭・区民まつりへの応援のほか、港湾局所有の港務艇で横浜らしさを前面に出したショート動画を撮影し、YouTubeに掲載しました。

イコットJr.プロジェクト

若年層の投票率の向上や投票制度の理解を促進するため、令和4年度、高校生の視点から選挙啓発の取組を検討する「イコットJr.プロジェクト」を立ち上げました。令和6年8月時点で4名の高校生が参加しています。

令和5年度は、横浜市庁舎アトリウムイベント「わくわく！こども夏まつり」において、来場者へ投票参加と政治関心度についてのアンケートを実施したほか、キャリア教育プログラム参加者と意見交換を行い、様々な世代の選挙に対する考えに触れました。

イコットプロジェクトメンバー インタビュー



令和5年度からイコットプロジェクトで活動をしている大学4年生のTさんにインタビューを行いました。

加入のきっかけを教えてください。

昨年度の横浜市選挙管理委員会事務局のインターンシップで、イコットプロジェクトのメンバーと意見交換をしたことがきっかけです。活動内容が自身の関心と合致し、大学での学びも活かすことができそうだったため、加入しました。

印象深い活動はありますか。

横浜市港湾局の協力のもと、港務艇で啓発動画を撮影した活動です。発案・港湾局との打ち合わせ・撮影した動画の編集作業まで一貫して関わったため、思い入れが強く、印象に残っています。

活動のやりがいや原動力はどういったものですか

市民の方やイコットプロジェクトメンバーの笑顔を生み出した経験が原動力です。

昨年、青葉区明るい選挙推進協議会さんと合同で青葉区区民まつりに出展した際には、模擬投票体験や着ぐるみを着用し、来場者の方と交流を行いました。多くのお子さんや親御さんの笑顔を見ることができたのと同時に、未来の有権者に啓発を行えたことに大きなやりがいを感じました。

若年層に効果的だと思う啓発活動はありますか。

動画サービス（YouTubeやTikTokなど）やSNS（XやInstagram）の活用が効果的だと考えています。

令和6年度の東京都知事選でもSNS等を利用した選挙運動は盛んに行われ、選挙とインターネットの結びつきは無視できないものとなっています。

動画サービスやSNSは、投稿時間や文章量の制約があります。限られた時間・文章量の中で、正確な情報をいかに簡潔に発信できるかを注意しながら、啓発活動を行う必要があると考えます。

今後の展望を教えてください。

メンバーの増員とともにメンバーの特技を活かせるような団体を目指しています。

私は動画編集経験があったため、前述の啓発動画撮影時には動画編集を主導しました。メンバーが増え、各々の特技や強みを発揮することができれば、よりユニークで幅広い啓発活動ができる団体になれると考えています。



▶ 定例会の様子
発案から実施まで、メンバー同士で盛んに意見を出し合い活動をしています。



明推協活動の魅力について青葉区明るい選挙推進協議会

企画・運営チームにインタビューしました



○青葉区明るい選挙推進協議会 企画・運営チーム

青葉区明推協の推進委員・推進員8名（令和6年8月時点）で構成されているチームです。

年に2回ほど、明推協の活動報告、区民まつりの企画や配布する啓発物品検討を議題として会議をしています。

7月29日（月）に行われた青葉区企画運営チーム会議にて、推進員の活動のやりがいや啓発に対する思いをインタビューさせていただきました。

青葉区では、「企画・運営チーム」を結成し、熱心に啓発活動に取り組んでいるとお聞きしましたが、推進員としての活動の原動力を教えてください。

< Fさん >

明推協がより主体的に啓発活動を行うことができる体制になれば区の負担軽減になるかと考え結成しました。また、若年層の投票率向上のためには若い視点を取り入れた啓発活動が必要です。現在、残念ながら学生の推進員はいませんが、今後は学生さんにポスターの作成や若い人向けの啓発のあり方や物品の検討してもらい、ともに推進員として活動できたらと考えています。

< Uさん >

推進員が活動している中で、選挙に対するイメージは堅苦しく、区民まつりや文化祭で選挙のブースを設け呼びかけても中々お客さんはのってくれないのが現状です。その現状をどうにかしたい、堅苦しくならない形を目指したいと思い活動をしています。

推進員の活動においてこういったときに楽しさを感じますか

< Tさん >

せんきょフォーラムへの参加や作文コンクールの審査等、子どもたちに接することが多いのですが、子どもの純粋な姿や意見に触れることができるのは大きなやりがいですし、癒しでもあります。

< Mさん >

一緒に活動している推進員の方々と話し合ったり、区民まつりで作業したりする時間が本当に楽しいし、自らの勉強にもなります。推進員の活動はあくまでもボランティアなので、楽しいからこそ続けられています。

地域において独自に行っている啓発活動はありますか

< Sさん・Yさん >

明推協のことをみなさんに知ってもらうために、選挙管理委員会で作成していただいた啓発物品で余っているものがないか確認をし、老人会や自治会で配布しています。

無駄がなくエコですし、トートバック等は結構人気なんですよ。

今後の啓発活動の展望はどのようなものですか

< Fさん >

「選挙は過去のことより未来を考えること」

その点を若い人たちに浸透させる必要があると思います。

自分たちの将来は選挙により決まることを分かってもらえるような啓発が重要なのではないのでしょうか。



▲ 青葉区企画運営チーム会議の様子
和気あいあいとした雰囲気の中、活発に意見交換が行われました。



▲ 当日の会議には地元の高校生2名も参加し、会議前にIcotto Jr.の着ぐるみの着心地を体験しました。

政治家の 寄付は禁止 有権者の 寄付要求も禁止

政治家が選挙区内にあるものに対して、
ここに紹介されたようなことをすると
処罰されます。



町内会などの集会への飲食代や
品物の差し入れ
お祭りへの寄付や差し入れ



地域の運動会や
スポーツ大会への差し入れ



お中元やお歳暮など
ちょっとしたおみやげ



「贈らない」「求めない」「受けとらない」の三ない運動



出産、入学、卒業、就職など
の祝い金や品物



秘書などが代理で出席する
お葬式の香典や花輪



開店祝いなどの花輪や祝い金

寄附禁止パネルも常時掲出しています！



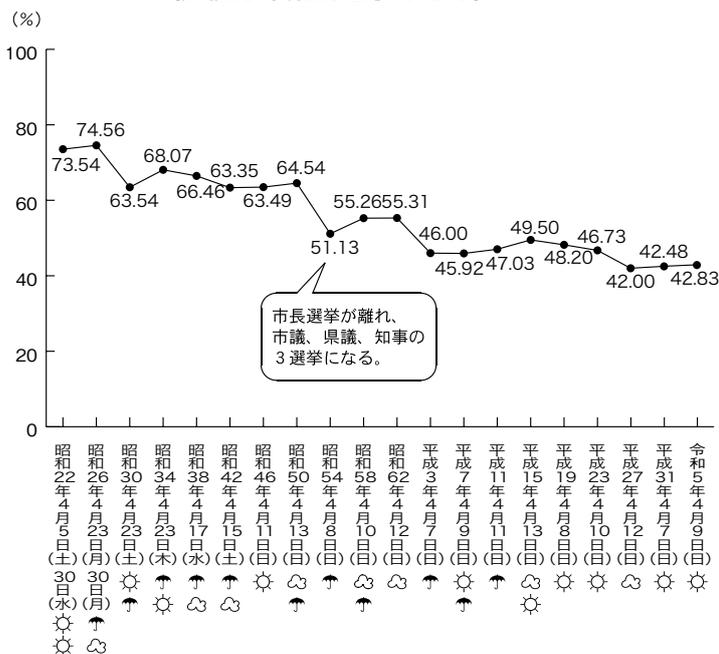
野毛ちかみち

各選挙における投票率の推移

つぎの4つのグラフは、各選挙における横浜市の投票率のグラフです。
全国的に低下傾向にある投票率は、横浜市も例外ではありません。
今後も有権者の積極的な投票参加を推進していきましょう。

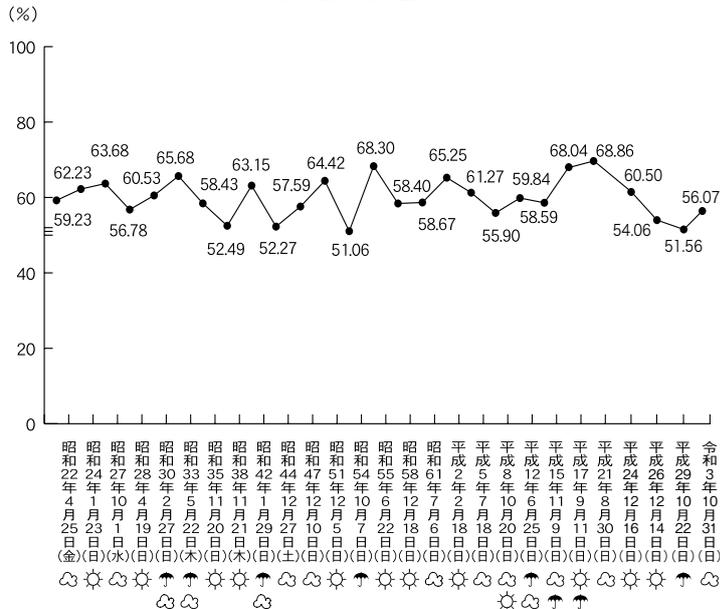
統一地方選挙

(数値は市議会選挙のもの)



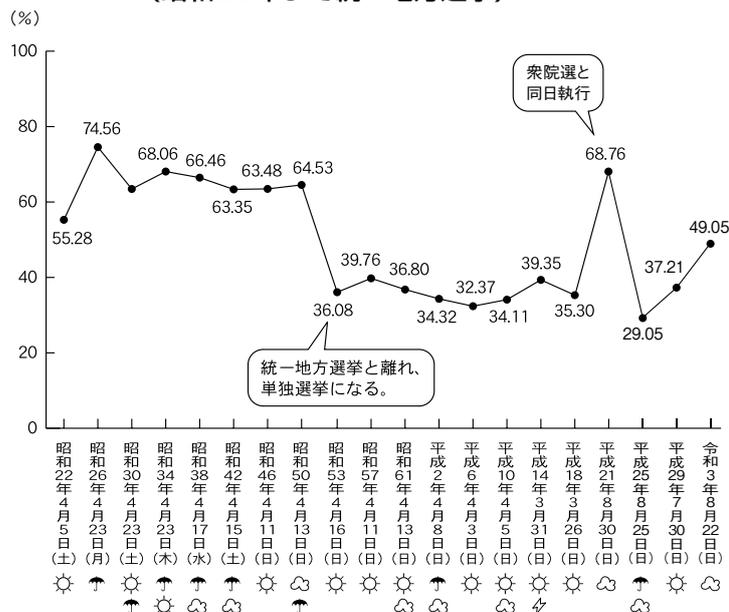
衆議院選挙

(平成8年以降の数値は小選挙区のもの)



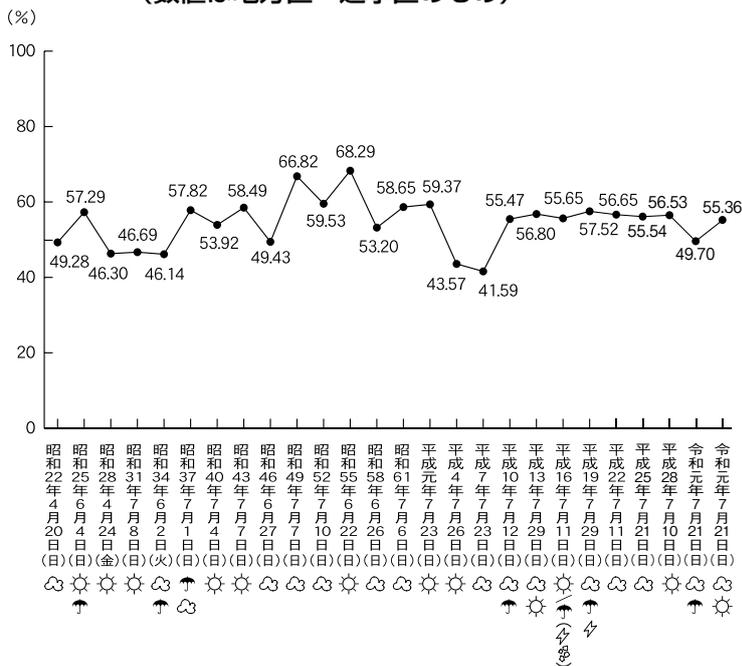
市長選挙

(昭和50年まで統一地方選挙)



参議院選挙

(数値は地方区・選挙区のもの)



注) 第一回統一地方選挙

昭和22年4月5日 市長・県知事選挙
4月30日 市議会・県議会選挙

第二回統一地方選挙

昭和26年4月23日 市議会・市長選挙
4月30日 県議会・県知事選挙



←一部選挙の投票率について
web上でもご覧いただけます。

◀【磯子区】こども映画会 フォトスポット



◀【緑区】ミドリマルシエでの啓発ブース



◀【中区】中区民祭りハローよこはま



◀【戸塚区】戸塚ふれあい区民まつりでの出店



◀【南区】せんきょフォーラムでの開票の様子



▶【神奈川区】神奈川区民まつり



▶【金沢区】金沢区選挙マスコット「いこあら」



▶【鶴見区】つるみ臨海フェスティバル



▶【港北区】メッセージカードコンテスト金賞作品



▶【青葉区】区民まつりのえら坊とイコット Jr.

